

2Dまたは、3D負荷についての説明

2Dおよび3Dの負荷は、SPT2に搭載されている加速度計から取得されます。加速度計は、体の動いている時間が長いものから短いもの、速いものから遅いものまで、すべての動きを記録します。データは毎秒100回記録されます）。アスリートがパフォーマンス中に受けるすべての動きとすべての力を合計することができます。それにより、コーチは現在、細かな測定基準を持って、選手たちモニタリングする事が可能になりました。2Dおよび3D負荷は「ロード」で測定されます。例えば、450ロードのように表記されます。

2Dおよび3D負荷は、個々のアスリートの仕事量と疲労状態を評価するための便利な手段です。私たちは、これらの指標をアスリートを比較するために使用しない事を強くオススメしています。

2Dロード：

あなたの体がパフォーマンスの過程を通して受ける水平方向の力の合計（前方と後方、左と右）。

3Dロード：

身体が受けるすべての水平力（前方と後方、左右）と垂直方向の力（上下）の合計。

使用事例：

次の例では、GameTrakaの個々のダッシュボードを使用して、選択した選手の合計2D負荷を表示しています。

下の例を見ると、（左のスパイクから順にイベント1、2、3、4、5、6）イベント1～3と、イベント4～6を比較すると**2D**ロードが大幅な変化があることがわかります。これらは、私たちが試し、回避したい負荷スパイクです。はい、高強度の試合から**1**つまたは**2**つのスパイクが表示されていると思うかもしれません。（おそらく心配する必要はありません）。しかし、それら負荷は合理的なペースで表示され続ける必要があり、一定のスパイクが表示される事は望ましくないことに注意をすることが重要です。

以下の例から、選手と会話をして、フォローアップし、彼らがどのように遅れを感じるかを確認することができます。

